

# 市町村未来づくり交付金自己評価調書

## 1 事業群評価調書

団体名：京田辺市

<p>重点目標</p>	<p>市民一人ひとりが人権を尊重し、いのちと健康を大切にするとともに、ゆとりとうるおいのある恵まれた環境の下、希望と生きがいに満ち、満足感のある生活を営むことができる都市を目指す。 さらに、都市の新たな成長の段階として、市民が様々な分野での活動を通じて相互の豊かな交流とネットワークを育み、生き生きとした京田辺の個性ある文化を創造し、誇りを持って次代に継承していく、自立性と積極性に富んだ魅力的な地域社会を目指す。</p>										
<p>事業群</p>		<p>構成事業名</p>									
<p>a. 安全で人にやさしいまちづくり 防災危機管理・消防・河川水路整備・交通安全・地域防犯対策・消費生活</p>	<p>消防防災設備整備事業</p>										
<p>事業群全体による 成果の概要</p>	<p>・エアーテントや空気式救助マット、除細動器を整備し、救助能力が向上した。また、消防団の備品整備を進め、防火活動を推進した。</p> <p>※本年度の成果について、客観的な数値により評価できる場合は下欄に記入すること。また、複数の指標がある場合は適宜欄を追加すること</p> <table border="1" data-bbox="352 1330 1493 1435"> <tr> <td data-bbox="352 1330 496 1386"> <p>成果指標</p> </td> <td data-bbox="496 1330 922 1386"></td> <td data-bbox="922 1330 1066 1386"> <p>実績値</p> </td> <td data-bbox="1066 1330 1493 1386"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="352 1386 496 1435"> <p>指標式等</p> </td> <td colspan="3" data-bbox="496 1386 1493 1435"></td> </tr> </table>			<p>成果指標</p>		<p>実績値</p>		<p>指標式等</p>			
<p>成果指標</p>		<p>実績値</p>									
<p>指標式等</p>											

(記載要領)

- 重点目標、事業群ごとに本様式を作成し、評価するものであること。
- 成果の概要については、できる限り客観的な数値によること。

## 2 個別事業評価調書

団体名:京田辺市

事業名		消防防災設備整備事業			
事業の概要		○火災や事故等に対する消防・救急体制を高めて市民の安全を守るため、消防・救急備品の整備を行うもの。 ・エアータント ・空気式救助マット ・マンホール救助具 ・除細動器、人工蘇生システム ・指令車 ・泡消火システム ・消防団用メガホン・防火衣・ライト ・消防団倉庫舗装整備			
		事業期間	平成22年6月1日～平成23年3月23日		
		総事業費	18,491	本年度事業費	18,491
事業評価	事業の必要性	・複雑化、多様化する災害等から市民の安全を守るため、常備消防力の強化を一層促進する必要がある。			
	事業の有効性	・消防防災施設の整備により消防力が向上する。			
	事業の効率性	・井手町及び宇治田原町の消防業務を受託しており、大型設備の共用等、効率的な施設整備を行うことができる。			
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		2 住民の自治意識を高める成果			
		3 リーディング・モデル成果			
4 広域的波及成果 ・本市では、井手町及び宇治田原町の消防業務を受託しており、事業効果は同町に波及する。					
5 行財政改革に資する成果					
6 その他の成果 ・エアータントや空気式救助マット、除細動器を整備し、救助能力が向上した。 ・消防団の備品整備を進め、防火活動を推進した。					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

# 市町村未来づくり交付金自己評価調書

## 1 事業群評価調書

団体名：京田辺市

重点目標	<p>市民一人ひとりが人権を尊重し、いのちと健康を大切にするとともに、ゆとりとうるおいのある恵まれた環境の下、希望と生きがいに満ち、満足感のある生活を営むことができる都市を目指す。</p> <p>さらに、都市の新たな成長の段階として、市民が様々な分野での活動を通じて相互の豊かな交流とネットワークを育み、生き生きとした京田辺の個性ある文化を創造し、誇りを持って次代に継承していく、自立性と積極性に富んだ魅力的な地域社会を目指す。</p>		
	事業群	構成事業名	
b. 心豊かな人を育てるまち 幼稚園教育・小中学校教育・青少年の健全育成・生涯学習・市民文化・伝統文化・スポーツレクリエーション		教育施設整備事業	
		運動公園施設整備事業	
事業群全体による 成果の概要	<p>・教育施設の耐震化に向けた実施設計を行うことで、工事が行えるようになった。また、給食備品の整備により、学校給食のドライ運用化が図れ、衛生環境が向上した。</p> <p>・田辺公園プールの天井を改修し、ロッカーを新たに整備するなどして安全で快適なスポーツ施設を提供できた。また、公園に健康遊具などを設置し、広い世代に楽しんでもらえ、健康増進と交流促進の憩いの場の創出を図った。</p>		
	<small>※本年度の成果について、客観的な数値により評価できる場合は下欄に記入すること。また、複数の指標がある場合は適宜欄を追加すること</small>		
	成果指標		実績値
指標式等			

(記載要領)

- 重点目標、事業群ごとに本様式を作成し、評価するものであること。
- 成果の概要については、できる限り客観的な数値によること。

## 2 個別事業評価調書

団体名:京田辺市

事業名		教育施設整備事業			
事業の概要		<p>○安心して教育を受けることができる教育施設を整備するため、耐震補強工事のための実施設計を行うもの。また、学校改築に伴い、教育設備を整備するもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校耐震工事等の実施設計</li> <li>・中学校耐震工事等の実施設計</li> <li>・学校改築に伴う設備の整備</li> </ul> <p>○安全でおいしい学校給食を提供するため、給食備品の整備を行うもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消毒保管庫や食器洗浄機等の学校給食備品の整備</li> </ul>			
		事業期間	平成22年6月4日～平成23年3月31日		
		総事業費	70,390	本年度事業費	70,390
事業評価	事業の必要性	・未来を担う児童生徒を育むため、快適で安心して教育を受けることができる教育施設の整備が必要である。			
	事業の有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の増改築や耐震工事により、教育環境が向上する。</li> <li>・学校給食のドライ化運用により、衛生環境が向上する。</li> </ul>			
	事業の効率性	・施設を整備し、学校給食の民間委託を推進することで行政運営の効率化に資する。			
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		2 住民の自治意識を高める成果			
		3 リーディング・モデル成果			
4 広域的波及成果					
5 行財政改革に資する成果					
6 その他の成果					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育施設の耐震化に向けた実施設計を行うことで、工事が行えるようになった。</li> <li>・給食備品の整備により、学校給食のドライ運用化が図れ、衛生環境が向上した。</li> </ul>					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

## 2 個別事業評価調書

団体名:京田辺市

事業名		運動公園施設整備事業					
事業の概要		○利用率の向上を図るため、快適な施設に向けて田辺公園プールの天井等を改修して安全性を向上させ、ロッカーや監視カメラ等を整備するなどして安心して利用できるようにするもの。 ・田辺公園プールの天井改修 ・体育館等における設備の整備					
		○身近な運動設備である公園遊具についても、健康遊具等を整備するもの。 ・公園遊具の整備					
		事業期間	平成22年9月3日～平成23年3月31日				
		総事業費	105,545	本年度事業費	105,545	交付金交付額	18,538
事業評価	事業の必要性	・田辺公園プールは、開設以来19年が経過しており、経年劣化等に対して早急に改修し、利用者の安全性等の向上及び施設の延命化を図る必要がある。なお、当該施設は、利用者が増加しており、需要の多い施設である。また、公園遊具、体育館設備等の需要も高く、早急に整備する必要がある。					
	事業の有効性	・スポーツ施設整備による市民の健康増進と交流促進を行える。					
	事業の効率性	・プールは指定管理者を導入しているが、平成22年度は再選定の年に当たり、事業補償することなく整備が行える。 ・区の要望を基に遊具を設置するため、利用されやすいものとなる。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		3 リーディング・モデル成果					
4 広域的波及成果							
5 行財政改革に資する成果							
		6 その他の成果 ・田辺公園プールの天井を改修し、体育館にロッカーや監視カメラを整備するなどして安全で快適なスポーツ施設を提供できた。また、公園に健康遊具などを設置し、広い世代に楽しんでもらえ、健康増進と交流促進の憩いの場の創出を図った。					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

# 市町村未来づくり交付金自己評価調書

## 1 事業群評価調書

団体名：京田辺市

重点目標	<p>市民一人ひとりが人権を尊重し、いのちと健康を大切にするとともに、ゆとりとうるおいのある恵まれた環境の下、希望と生きがいに満ち、満足感のある生活を営むことができる都市を目指す。</p> <p>さらに、都市の新たな成長の段階として、市民が様々な分野での活動を通じて相互の豊かな交流とネットワークを育み、生き生きとした京田辺の個性ある文化を創造し、誇りを持って次代に継承していく、自立性と積極性に富んだ魅力的な地域社会を目指す。</p>		
	事業群	構成事業名	
c. 健やかで安心してらせるまちづくり 健康づくり・地域福祉・高齢者福祉・障害者福祉・児童福祉 ・社会保障		河原保育所建設事業	
		ケアホーム建設補助事業	
事業群全体による 成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河原保育所建設により、保育サービスと子育て支援機能の充実が図れた。</li> <li>・ケアホームの建設により、障害者が住み慣れた地域で生活してもらえる受け入れ体制を確保した。</li> </ul>		
	<small>※本年度の成果について、客観的な数値により評価できる場合は下欄に記入すること。また、複数の指標がある場合は適宜欄を追加すること</small>		
	成果指標		実績値
指標式等			

(記載要領)

- 1 重点目標、事業群ごとに本様式を作成し、評価するものであること。
- 2 成果の概要については、できる限り客観的な数値によること。

## 2 個別事業評価調書

団体名:京田辺市

事業名		河原保育所建設事業			
事業の概要		○児童数が増加する市中部地域において、保育所入所定員の拡大のため、河原保育所を建て替えるとともに、地域子育て支援センターを新設するもの。 ・入所定員 180人(既存 150人) ・建築面積 1,163㎡ 延床面積 2,043㎡ 鉄筋コンクリート2階建 1階 保育室、乳児ホール、多目的ルーム、地域子育て支援センター(新設) 2階 保育室、一時保育室、遊戯室等			
		事業期間	平成22年4月1日～平成22年9月22日		
		総事業費	712,009	本年度事業費	120,189
事業評価	事業の必要性	・保育所入所希望者が増加しており、保育所入所定員の拡大が必要である。 ・家族形態の多様化に伴い、一時保育の充実や地域子育て支援センター等、子育て支援施設の整備が必要である。			
	事業の有効性	・保育所の規模拡大により、児童の受け入れ体制の充実と子育て支援体制を整備できる。			
	事業の効率性	・地域子育て支援センターを併設することで、単独建設よりも事業費の削減を行うことができる。			
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		2 住民の自治意識を高める成果			
		3 リーディング・モデル成果			
4 広域的波及成果					
5 行財政改革に資する成果					
		6 その他の成果 ・保育所定員の増加により、乳幼児の受け入れを円滑に行うとともに、地域子育て支援センターで子育てに関する情報提供を行うことができた。			

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

## 2 個別事業評価調書

団体名:京田辺市

事業名		ケアホーム建設補助事業			
事業の概要	○障害者自立支援法に基づき、住み慣れた地域の中で生活を送ることができるようケアホーム建設事業に対して補助をした。 ・ケアホーム入所者10名 ・延床面積353㎡ 木造平屋建				
	事業期間	平成23年1月12日～平成23年3月31日			
	総事業費	12,035	本年度事業費	12,035	交付金交付額
事業評価	事業の必要性	・障害者自立支援法は、住み慣れた地域の中で生活を送ることを目指しており、その受け皿となるケアホームの整備が必要である。			
	事業の有効性	・地域での障害者の受け入れ体制を整備し、障害者が生きがいをもって自立した生活を送れるようになる。			
	事業の効率性	・民間事業者へ建設補助を行い、民間活力を活用した形で事業を推進できる。			
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		2 住民の自治意識を高める成果			
		3 リーディング・モデル成果			
4 広域的波及成果					
5 行財政改革に資する成果					
		6 その他の成果 ・ケアホームの建設により、障害者が住み慣れた地域で生活してもらえる受け入れ体制を確保した。			

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

# 市町村未来づくり交付金自己評価調書

## 1 事業群評価調書

団体名：京田辺市

重点目標	<p>市民一人ひとりが人権を尊重し、いのちと健康を大切にするとともに、ゆとりとうるおいのある恵まれた環境の下、希望と生きがいに満ち、満足感のある生活を営むことができる都市を目指す。</p> <p>さらに、都市の新たな成長の段階として、市民が様々な分野での活動を通じて相互の豊かな交流とネットワークを育み、生き生きとした京田辺の個性ある文化を創造し、誇りを持って次代に継承していく、自立性と積極性に富んだ魅力的な地域社会を目指す。</p>		
	事業群	構成事業名	
d. 快適で住みよいまちづくり 住宅・住環境・環境美化・循環型社会・上水道・下水道・生活排水処理		生活環境整備事業	
事業群全体による 成果の概要	<p>・排水路の改良に向けた実施設計を行い、排水能力の向上に向けた工事ができるようになった。</p>		
	<p>※本年度の成果について、客観的な数値により評価できる場合は下欄に記入すること。また、複数の指標がある場合は適宜欄を追加すること</p>		
	成果指標		実績値
	指標式等		

(記載要領)

- 重点目標、事業群ごとに本様式を作成し、評価するものであること。
- 成果の概要については、できる限り客観的な数値によること。

## 2 個別事業評価調書

団体名:京田辺市

事業名		生活環境整備事業			
事業の概要		○集中豪雨に対応できるよう、排水路の整備に向けた設計を行うもの。 ・薪水取地内排水路の実施設計 ・薪島地内他排水路の実施設計 ・新興戸地内排水路の実施設計			
		事業期間	平成22年9月2日～平成23年3月22日		
		総事業費	5,533	本年度事業費	5,533
事業評価	事業の必要性	・集中豪雨等に対応できるよう、排水路の能力を向上させる必要がある。			
	事業の有効性	・排水路の能力が向上する。			
	事業の効率性	・自然災害が多くなっており、早期に排水機能を向上させることで被害を予防する。			
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		2 住民の自治意識を高める成果			
		3 リーディング・モデル成果			
4 広域的波及成果					
5 行財政改革に資する成果					
		6 その他の成果 ・排水路の改良に向けた実施設計を行い、排水能力の向上に向けた工事ができるようになった。			

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。